

1．件名：「日本原燃(株)MOX施設の新規制基準適合性に関するヒアリング
(342)」

2．日時：令和2年7月1日(水)13時30分～14時45分

3．場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4．出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、建部主任安全審査官

日本原燃(株)

高松 理事 燃料製造事業部 副事業部長 他8名

5．要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から、当日提出資料に基づき、重大事故対策の考え方の説明を受け、原子力規制庁から、以下の点について説明するよう求めた。

重大事故で想定する火災の規模、継続時間等のパラメータスタディの中で、体積膨張量や工程室内の圧力、温度等の経時変化について整理すること。

実際に火災が発生した場合に、どのような経路を経て外部にMOX粉末が放出されるのか、経路の圧力損失等を踏まえて整理すること。

火災の影響によるMOX粉末の気中への移行率及び工程室内のMOX粉末の濃度の考え方について整理すること。

内的事象を要因とした場合の手順について、仮定する機器故障毎に具体的に整理すること。

(2) 日本原燃から、本日のヒアリングを踏まえて対応する旨の発言があった。

6．その他

提出資料

「重大事故等への対処について」